

# 4年 後期の実践報告

研修主題 自己課題を持ち、支え合い、ねばり強く追求する子を目指して  
学年研修目標 「身近なことから課題を見つけ、自分なりに解決する子」  
活動のテーマ 「見つめよう住み良い大岡」

## 1 具体的な活動内容

- 10月 ・前期に引き続き、自分の課題をさらに追求していった。
- 11月 ・12月の発表に向けてグループごとや個人で、自己課題の追求と発表の準備をしていった。  
模造紙にまとめる 本にまとめる 画用紙にまとめる 新聞にまとめる  
ペープサート 地図にまとめるなどである。
- 12月 ・生き物グループ、植物グループ、ゴミ・リサイクルグループ、空気・水グループの4つのコースに分かれ、これまでに課題追求をしてきたことを発表した。
- 1月 ・各コースから選ばれた代表者の発表会を開いた。いろいろな課題で追求してきたことを聞き、まとめ方の良いところをいってあげたり、まとめたことでもっと知りたいことを質問したりすることができた。  
・ALTの国際理解では、挨拶をしたり、英語で歌を歌ったり、ゲームをしたりして楽しく過ごした。
- 2月 ・情報の時間では、6年生に似顔絵やメッセージの入った下敷きのプレゼントづくりをした。

## 2 児童の表れ(資料)

- ・各コースの代表となった児童は、みんなの前で発表することでより自信をつけることができた。
- ・他のコースの発表を聞くことで、環境についてさらに視野を広げることができた。
- ・いろいろな友達の発表を見たり聞いたりすることで、資料の大きさや声の大きさなど、どうしたら分かり易く伝えることが出来るか、考えるきっかけになった。

## 3 活動の反省と課題

<良かった点>

- ・調べたり、まとめたりすることは進んで取り組むことができた。
- ・課題を見つけ進んで調べることができた。
- ・図書館にいったり調べたり、家の人に聞いたり、インターネットで調べたり、いろいろな方法で調べることができるようになった。
- ・同じテーマの子を集めたので、その中で課題の同じ子でグループを作り、お互いの内容や進度を確かめながら進めることができた。

<改善したい点>

- ・発表の仕方がまだ十分身につけていないところがある。個人差が大きい。
- ・デジタルカメラでせっかく撮っても、その写真を資料としてしっかり生かせなかった。
- ・課題追求の途中で課題を何度か変える児童がいたが、その子にとって本当に必要な課題だったか、適当だったかもっとじっくり考えさせたい。

## 4 今後の活動

- ・花の手入れや公園の清掃などの活動をし、大岡地区の環境についてもう一度見直す。
- ・自然環境の変化や生活環境の変化への気づきを大切にしたい。
- ・1年間の学習を振り返りまとめる。